

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス ハートフェルト			
○保護者評価実施期間	R7年9月1日		～ R7年9月30日	
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数)	5
○従業者評価実施期間	R7年9月1日		～ R7年9月30日	
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数)	4
○訪問先施設評価実施期間	R7年9月1日		～ R7年9月30日	
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	5	(回答数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	R7年10月21日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保育所等訪問支援の支援内容を報告書等を通して保護者へ詳しくお伝えすることにより、訪問先施設での対象児童の様子がわかりやすいと評判が高い。	対象児童の成長の様子や課題点などを具体的に伝えるように努めています。必要に応じて、ご家庭での取り組みのご提案もお伝えしています。	保護者からご家庭での児童の様子を聞き、その内容を訪問先施設で工夫できる点がないかを検討してまいります。
2	訪問支援スタッフが高い専門性を持って情報共有を行っており、相談支援事業所の研修会講師として招かれるなど、支援の質が高いと評判が良い。	訪問支援スタッフのみならず、放デイスタッフとも情報共有を密に行い、双方の支援の質を高めている。	情報共有の内容を対象児童への支援に活かすとともに、保護者や訪問先施設との連携を図っています。
3	非常勤のPT/OTが訪問支援スタッフとして勤務している。	児童の特性に応じて、保育士・PT・OTの各スタッフが臨機応変に支援しており、また多職種連携での支援も行うことができる。	保育所等訪問支援のみならず、放課後等デイサービスの支援にもその情報を活かすことができている。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	多機能型における人員配置・兼務調整の難しさ。	放課後等デイサービスと保育所等訪問支援を併設していますが、令和6年度以降、兼務職員の勤務時間配分等の条件が厳しくなっており、人員計画・勤務体制の最適化が課題となっています。	PT及びOTのパート職員を採用したことにより、保育所等訪問支援のみならず、放課後等デイサービスの支援スタッフとしても支援してもらうことができている。今後は充実した支援を継続できるよう、利用児童数の安定確保も必要になってきます。
2	保育所等訪問支援の目的等については、訪問先施設へ詳しく説明させていただいてから支援に入らせていただいているが、訪問先施設のマンパワー不足の解消や保育所等訪問支援の趣旨とは違う支援を求められることもある。	訪問先施設の先生方の多忙さによる情報共有の不足。事業所としても平日の放課後は放課後等デイサービスのサービス提供時間にかかるため、訪問先施設との面談機会の設定が困難です。	訪問先施設ならびに当事業所の運営に支障が生じない範囲で面談の機会を設けたり、オンライン会議の導入等を依頼するなど情報共有の時間捻出を検討してまいります。
3	保育所等訪問支援のご利用のみのご家庭との情報共有の機会が限られている。	保護者への情報共有については、毎回支援内容の実績報告書をお渡ししているものの、放デイの利用がなく郵送でのやりとりが主であるため、タイムラグが発生していました。	HUGやChatworkによる電子媒体の活用により、迅速な情報共有を行うことで、保護者が多忙でも伝達することが可能です。課題としては、(モニタリング以外の機会でも)報告に対するご家庭の反応を毎回伺いして現場での支援に活かせるよう、より密接な支援体制を確立してまいります。

公表

保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名 放課後等デイサービス ハートフェルト

公表日 R7年10月21日

利用児童数

R7年9月30日

5回収数

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	3	0	0	2		放課後等デイサービスの教具教材を併用しているため、保護者にはわかりにくい設問だったと思われます
	2	プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	4	0	0	1		
	3	事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	5	0	0	0		
	4	保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	4	0	1	0		あくまで保護者の求めに応じて支援を決定しておりますので、懇切丁寧なご説明をするよう努めてまいります
適切な 支援の 提供	5	こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思いますか。	4	0	1	0		相談支援事業所の研修会の講師として招かれた実績もあり、経験のある保育士・PT・OTと粒ぞろいです
	6	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	5	0	0	0		
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	5	0	0	0		
	8	保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	5	0	0	0		
	9	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	5	0	0	0		
	10	保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	5	0	0	0		
	11	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。	5	0	0	0		
保護者 への 説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	4	1	0	0		ご利用契約時に必ずご説明しております
	13	「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	5	0	0	0		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	3	0	1	1		保護者の求めに応じて家族支援を行っておりますので、保護者にご利用いただけるようあらためてお知らせします
	15	必要ときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができていると思いますか。	5	0	0	0		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	4	0	1	0		モニタリングの機会はもちろん、家族支援も行っております
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	4	0	1	0		子どもの特性に応じた支援ができるよう共感的な支援に努めております
	18	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	4	1	0	0		
	19	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	5	0	0	0		
	20	事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	5	0	0	0		

	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	5	0	0	0		
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して共有がなされていると思いますか。	5	0	0	0		
非常時等の対応	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	5	0	0	0		
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	4	0	0	1		
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	4	0	0	1		
満足度	26	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	4	0	0	1		
	27	子どもは訪問支援を嫌がっていませんか。	5	0	0	0		
	28	事業所の支援に満足していますか。	4	1	0	0		

公表

訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名		公表日				
放課後等デイサービス ハートフェルト		R7年10月21日				
		利用児童数			R7年9月30日 5回収数	
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	4	1	0	訪問後、毎回報告書を頂いていますが、その内容は大変参考になりました。今後の児童への支援に活かしてまいります。 リコーダーでの運指表やブルでの活動の仕方はとてもわかり易く、他の児童にも取り入れることができました。 実績報告書を関係職員で回覧・共有していますが、助言はとくに受けておりません。	実績報告書の内容をさらに工夫（写真・図解を加える等） 報告書の口頭補足や簡単な振り返りミーティングを設定し、助言が一方通行にならない工夫を行う。 他児への活用事例も積極的に紹介する。
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	3	2	0	報告書の内容にも専門的な知識と技術を生かしたコメントが書かれており、本校での支援の参考にさせていただいています。	今後も専門職（OT/PT）の知識を積極的に反映。 担任・保育士等へのフィードバックで「即実践できる視点」を強調する。
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	4	1	0	訪問支援後に来校された際、十分に情報交換をする時間が確保できていないため「質問に対する回答」には評価できません。 すぐコミュニケーションが取りやすかったです。 ブルサイドの上り降りの仕方について、すぐく分かりやすく説明してくださいました。	訪問後に5～10分の質疑応答時間を確保できるよう調整。 質問を事前に受け付け、訪問時に回答する方式も導入。 短時間でも「次回への宿題」として持ち帰り、報告書に回答を追記する体制を整える。
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	3	1	1	けのびの仕方（床・壁をどのように蹴るのか）やリコーダーの指づかいの仕方が分かり、本人が自信を持って学習に臨む姿を見ることができました。 き事業所からの継続的なご支援は、本人の課題の解決に向けた一助となっています。今後も連携を深めながら、より良い支援ができればと思います。 解決はできておりません。	成果が見られた支援方法は、保護者・学校側と共有して継続。 課題が残る場合は、次期支援計画に「継続課題」として明記し、改善策を検討。 訪問頻度を減らしたケースについては、フォローの在り方（電話・オンライン相談等）を検討する。
5	事業所からの支援に満足していますか。	3	2	0	事業所等での支援のおかげで、児童が自信を持って学習に取り組むことができました。しかし、授業中の支援を目標にすることが難しかったです。児童が困っているときに、どのような声掛け・支援をするか、本校担任ができる支援を、授業中に教えていただけると助かります。 き事業所には、今後も児童に対する専門的な支援を継続していただくことを希望いたします。 保護者の満足が得られれば充分かと思います。	学校側と調整し、授業観察の機会を可能な範囲で増やす。 授業中に有効な声掛け例を報告書に明記。 保護者へのフィードバックも継続し、学校・家庭・事業所で一貫した支援につなげる。
その他のご意見				ご意見を踏まえた対応		
月1回の訪問支援の中で、作業療法士に保育の様子を観察してアドバイスを受けることで、当該児へのより良い関わり方について学んだり、担当保育士で課題を共有することができています。				実績報告書は訪問後1週間以内に送付することを徹底。		

実績報告書を適宜いただければ対応に生かしやすいです。保護者にも同じものを送っているのでしょうか？ 訪問支援の日数を減らしていただきました。とくに問題なく学校生活を送ることができているのではないかと思います。 評価表の「ご意見」を記入する欄が狭く、手書きでは難しいと感じましたので、可能であればデータを頂き、入力、送信させていただけると助かります。	保護者用のフィードバック資料についても統一方針を整理し、先方に説明。 評価表は今後データ入力可能な形式（ExcelやGoogleフォーム等）を併用し、負担軽減を図る。
--	---

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日 R7年10月21日				
事業所名		放課後等デイサービス ハートフェルト				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点
環境 制・ 整 運 備 営 ・	1	訪問支援に使用する場合の教員教材は適切であるか。	○		放デイの教員教材が併用可能	
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		必要に応じて、必要な職種の専門職を各施設 へ派遣している	
業 務 改 善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り) に、広く職員が参画しているか。	○		主任を軸とした意見集約に努めており、現場 の担当者が働きやすい職場づくりに努めている	
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設 けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		保護者の評価を重要な指針として捉えてお り、問題があれば迅速に業務改善につなげる ような体制づくりを心がけている	
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改 善につなげているか。	○		支援スタッフの意見を重要視している	
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている か。		○	相談支援事業所や保護者アンケートで改善に 努めている	第三者評価は実施していない
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等 で研修を開催する機会が確保されているか。	○		主任を軸とした初任者に対する研修や訪問支 援同行により、資質向上に努めている	
適 切 な 支 援 の 提 供	8	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護 者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計 画を作成しているか。	○		適切に対応している	
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任 者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こ どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		各スタッフの意見集約に努めている	
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等 と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	○		適切に対応している	
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が 行われているか。	○		情報共有を密に取っている	
	12	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォー マルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマ ルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		HUGに情報を統一してスタッフ間で共有して いる	
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの 「保育所等訪問支援の具体的な内容」も踏まえながら、具体的な支 援内容が設定されているか。	○		提供すべき具体的な支援内容を吟味して支援 にあたっている	
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が 行われているか。	○		主任を中心に計画に沿った支援を行うよう努 めている	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援 の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っ ているか。	○		主任を中心として支援内容等を確認の上、支 援にあたっている	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支 援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		支援終了後に情報共有を行っている	
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重 して支援を行っているか。	○		訪問先ごとの方針を尊重しながら、支援対象 児童にとって最善の支援を行っている	
	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改 善に繋げているか。	○		必ず報告書を作成している	

	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		適切に見直しを行っている	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		主任等が中心となり、適切な情報共有ができるよう対応している	
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		必要に応じて対応できる体制を整えている	
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		移行期の支援も心がけている	
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	○		子ども部会の研修等、機会があれば参加している	
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	○		参加している	
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	○		共通理解に努めている	
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		市や県からの情報を共有したり、家族支援を行っている	
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時に保護者から理解していただけるよう説明して押印も頂いている	
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	○		訪問先施設に対しては、理解・納得いただいたうえで、訪問支援を行うよう努めている	
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		こどもについては日常の会話等から、保護者については担当者会議等により確認している	
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	○		保護者には丁寧に説明を行い、理解納得の上で支援を行っている	
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	○		保護者会の実施や、必要に応じて家族支援の対応も行っている	
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	○		年に一度、保護者会を行っている	保護者会に参加できないご家庭のため、オンライン参加等の機会拡充も検討する
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		家族支援を受け入れる体制がある	
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		チャット等により情報発信している	
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		保護者等への伝達について個人情報に留意して対応している	
訪問先施設への	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		配慮して対応している	
	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	○		支援者の目線で助言や支援を行っている	一部の学校では、保育所等訪問支援の必要性等について、あらためて説明の必要がある
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	○		報告書の共有はもちろんのこと、必要に応じて訪問先施設と連絡を取ったり面談を行っている	
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	○		報告書を作成してお知らせしている	

説明等	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		訪問先施設の個人情報に留意して業務にあたっている	
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	○		安心して相談をいただけるよう、信頼関係を構築するよう尽力している	訪問先の担当者によって受け取り方が様々であるが、今後も粘り強く信頼関係を構築していきたい
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		各種マニュアルを作成し、必要に応じて随時、職員、保護者への周知を行っている	
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		常に安全管理に努めている	
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		チャット等により迅速な情報共有と再発防止に努めている	
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		虐待防止研修を行っている	
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		身体拘束が必要と思われる児童については、組織的な対応として個別支援計画により保護者等の承諾を得て対応している	